

2007 年度・2008 年度入学生

環境都市工学部

エネルギー・環境工学科 「HAND BOOK」記載内容の変更について

3 年次配当科目の「授業科目名称」について、下記の通り変更します。

記

該当箇所

HAND BOOK

「エネルギー・環境工学科 卒業に必要な単位数および授業科目一覧」

変更箇所①

「2 実験科目の履修条件について」

【変更内容】

(変更前)

「分析化学実験」「物理化学実験」「プロセス工学実験」および「環境工学実験」を履修するには、履修する前年度秋学期末までに次の要件を具備していなければなりません。

- (1) 2 年次配当の「分析化学実験」および「物理化学実験」を履修するには、1 年次配当の「物理学実験」および「化学実験」を修得し、その他の 1 年次配当の専門教育科目の必修科目 10 単位のうち 6 単位以上、合計 8 単位以上を修得していること。
- (2) 3 年次配当の「プロセス工学実験」および「環境工学実験」を履修するには、2 年次配当の「分析化学実験」および「物理化学実験」を修得し、その他の 1・2 年次配当の専門教育科目の必修科目 32 単位のうち 22 単位以上を修得していること。

(注:「実験科目の履修条件」の取扱い変更については、平成 20 年 9 月 17 日(水)にインフォメーションシステムのお知らせにて周知済。)



(変更後)

「分析化学実験」「物理化学実験」「化学工学実験」および「環境有機化学実験」を履修するには、履修する前年度秋学期末までに次の要件を具備していなければなりません。

- (1) 2 年次配当の「分析化学実験」および「物理化学実験」を履修するには、1 年次配当の「物理学実験」および「化学実験」を修得し、その他の 1 年次配当の専門教育科目の必修科目 10 単位のうち 6 単位以上、合計 8 単位以上を修得していること。
- (2) 3 年次配当の 「化学工学実験」および 「環境有機化学実験」を履修するには、2 年次配当の「分析化学実験」および「物理化学実験」を修得し、その他の 1・2 年次配当の専門教育科目の必修科目 32 単位のうち 22 単位以上を修得していること。

(2 ページ目に続く)

変更箇所②

「3 「特別研究Ⅰ・Ⅱ」の履修について」

【変更内容】

(変更前) (3) 「プロセス工学実験」、「環境工学実験」を修得していること。

↓

(変更後) (3) 「化学工学実験」、「環境有機化学実験」を修得していること。

(※注:なお、(4)について、(変更後)「特別研究Ⅱ」を履修するには、「特別研究Ⅰ」を修得していること。」への変更は、平成20年9月24日付インフォメーションシステムのお知らせにて周知済。)

変更箇所③

「専門教育科目 (エネルギー工学コース、環境化学コース)」(右ページ一覧表)

【変更内容】

(必修科目) 3年次配当

(変更前) 「プロセス工学実験」(4単位) → (変更後) 「化学工学実験」(4単位)

(変更前) 「環境工学実験」(4単位) → (変更後) 「環境有機化学実験」(4単位)

(選択必修科目)

〔環境化学コース〕3年次配当

(変更前) 「触媒環境工学」(2単位) → (変更後) 「触媒化学工学」(2単位)

(選択科目)

〔エネルギー工学コース〕3年次配当

(変更前) 「触媒環境工学」(2単位) → (変更後) 「触媒化学工学」(2単位)

以上